



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

五年生

九月 第①週



学習を始める前に

①必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具

②注意

- ・大事だと思われるところはノートに書いてください。
- ・このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後のお知らせを見てください。
- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。
- ・必要があるときは、ビデオを止めた後、もう一度ビデオを見たりしてください。

身近な環境について考えましょう

環境問題とは何でしょう。川がよごれている。空気がきたなくなっている。ごみが増えている。地球の温度が高くなっている。地球上にいなくなってしまった生物がいる。これらは、わたしたちの身近で起きている環境問題です。身近な環境問題について考え、自分たちの足元から見つめ直しましょう。そして、かけがえのない地球について考え始めましょう。



一秒が一年をこわす

いとう かずあき
伊藤 和明

この地球の上に、わたしたち人類の祖先が誕生したのは、今からおよそ三百五十万年から四百万年ほど前のことだといわれている。その人類は、すぐれたちえと技術とをもち合わせていたために、ほかの生物たちをしりめに、すばらしい発展をとげてきた。特に、この二百年ほどの科学技術の発達はいちじるしく、わたしたちは今、たいへん便利な生活を送ることができるようになった。

《新しい漢字》

環境 キョウウ

祖先 ソン

技術 ギジュツ

居る い

身の回りを見回しただけでも、多くのものが自動化されたために、人手をあまり使わなくてもすむようになったし、家庭のテレビでは、世界各地で今起こっている出来事を、居ながらにして見ることができるようになった。交通機関も発達して、日本からヨーロッパまで、十二時間前後で飛ぶことができるようになった。

しかし、わたしたちがこうした便利な生活を送るためには、地球上のたくさんの資げんやエネルギーを使わなければならぬ。そのことが、今、地球の環境に大きなえいきょうをおよぼしつつある。

例えば、世界の各地で森林がどんどん切り開かれている。木は、紙などを作るための原料とされたり、燃料として使われたりする。切られたあとの土地は、耕地や住居のための用地となる。しかし、森林がなくなると、大雨の際、山くずれや洪水などの災害を引き起こしやすくなり、土地はあれ果てていく。こうして、不毛のさばくに変わってしまった地いきさえある。

また、森林やひがたなどの開発が進んだために、野生の生物たちはすみかをうばわれ、次々とほろびようとしている。野生の生物の種類が減るということは、自然がそれだけ貧しくなることであり、生物の一員である人類にとっても、決して好ましいことではない。

《新しい漢字 読みかえの漢字》

シンリン

森林

まず

貧しい

ネン

燃料

この

好ましい

コウ

耕地

キョ

住居

サイ

際

サイ

災害

ヘ

減る

さらに、資げんやエネルギーを大量に使えば使うほど、その結果として出る廃棄物の量も増える。そのため、地球上の各地で、生物にとって大切な水や空気がよごれてしまった。海や川によごれは、水辺に住む生物はもちろん、人類にも悪いいきょうをあたえ、大気によごれは健康をそこなう原因となっている。

そのうえ、人類全体にとって重大な問題は、わたしたちが石油や石炭を大量に消費しているために、地球をおおう大気中の二酸化炭素が増え続けていることである。二酸化炭素は、地表から宇宙空間に上げていくはずの熱を吸収する働きがあるため、地球の気温がどんどん上がっていくだろうと予測されている。



《新しい漢字 読みかえの漢字》

水辺

石炭

二酸化炭素

このままの活動を人類が続けていけば、地球の環境は悪くなるばかりで、その結果、人類が永遠に生きていけるかどうかさえあやぶまれているのである。言いかえれば、わたしたちの生活を支えている便利さと引きかえに、地球が重い病気にかかり、最終的には人類自身に、大きなわざわいがおよぼうとしているということができる。

地球が太陽系のわく星の一つとして誕生したのは、今から四十六億年ぐらい前だといわれている。地球は太陽からほどよいきよりに生まれ、また、ほどよい大きさをもっていたために、そこには水が生まれ、大気が生まれた。

やがて、その水の中に、さまざまな生命が誕生し、次々と進化をしてきた。初め海で栄えた生命は、四億年ぐらい前からは、陸上にも広がるようになった。いろいろな種類のキョウリュウが、わがもの顔にのし歩いていた時代もあった。そのキョウリュウがほろびると、次にはほにゅう類の時代が来た。そして、最後に人類が誕生したのである。

人類は、誕生からの長い間、生物の一員として、地球の自然とうまく付き合いなら生き続けてきた。ところが、ここ二百年ほどの間に、人類は、ちえと技術をふんだんに使って便利な社会を作り上げ、その結果として、地球の環境をこわし人類自身の未来までもあやうくしているのである。

《新しい漢字 読みかえの漢字》

エイ
永遠

ささ
支える

シユウ
最終的

さか
栄える

四十六億年という地球の歴史に対して、人類の生きてきた時間は、わずか三百五十万年から四百万年ほどにすぎない。

仮に、地球の歴史である四十六億年を、一年にたとえてみよう。地球が一月一日午前0時に生まれ、今が、まるまる一年たった大みそかの夜中の十二時だとしたら、人類の誕生したのはいつごろになるだろうか。答えはなんと、十二月三十一日の午後五時ごろなのである。つまり、地球の歴史を一年にたとえるなら、人類は、生まれてからわずか七時間ほどしかたっていないことになる。

しかも、その七時間の大部分を、人類は、地球の自然と仲良くしながら生きてきた。人類が、さかんな活動の結果として、さまざまな環境の問題を引き起こすようになったのは、わずか二百年ぐらいのことだから、地球の一年に対して、一秒ちよつとの時間にすぎない。

たった一瞬間、地球の上で活動をしたために、人類は、地球が一年かかって築きあげてきた環境をこわしてしまい、地球に対して取り返しのつかないことをしようとしている。人類が地球の上でもしこれ以上おごりたかぶるなら、地球からは、大きなしっぺ返しを食うにちがいない。

《新しい漢字 読みかえの漢字》

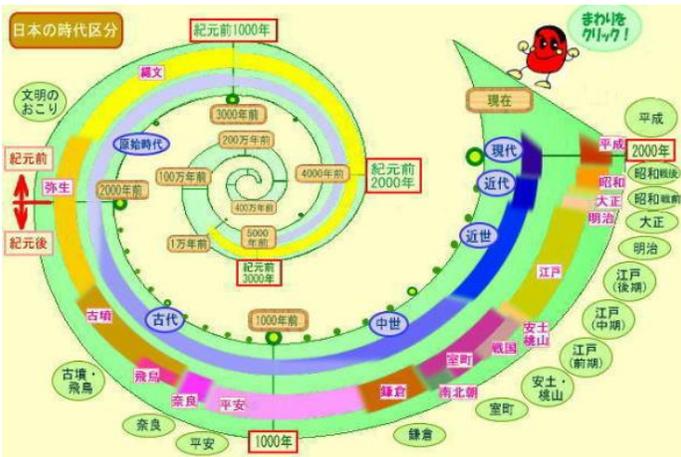
エイ
永遠

ささ
支える

かり
仮

ついたらち
一日

きず
築き上げる



身近な環境について考えましょう

環境問題とは何でしょう。川がよごれている。空気がきたなくなっている。ごみが増えている。地球の温度が高くなっている。地球上にいなくなってしまった生物がいる。これらは、わたしたちの身近で起きている環境問題です。身近な環境問題について考え、自分たちの足元から見つめ直しましょう。そして、かけがえのない地球について考え始めましょう。



いとう かずあき
伊藤 和明

一秒が一年をこわす

この地球の上に、わたしたち人類の祖先が誕生したのは、今からおよそ三百五十万年から四百万年ほど前のことだといわれている。その人類は、すぐれたちえと技術とをもち合わせていたために、ほかの生物たちをしりめに、すばらしい発展をとげてきた。特に、この二百年ほどの科学技術の発達はいちじるしく、わたしたちは今、たいへん便利な生活を送ることができるようになった。

《新しい漢字》

環境 キョウウ

祖先 ソン

技術 ギジュツ

居る イ

さらに、資げんやエネルギーを大量に使えば使うほど、その結果として出る廃棄物の量も増える。そのため、地球上の各地で、生物にとって大切な水や空気がよごれてしまった。海や川によごれは、水辺に住む生物はもちろん、人類にも悪いいきようをあたえ、大気によごれは健康をそこなう原因となっている。

そのうえ、人類全体にとって重大な問題は、わたしたちが石油や石炭を大量に消費しているために、地球をおおう大気中の二酸化炭素が増え続けていることである。二酸化炭素は、地表から宇宙空間に上げていくはずの熱を吸収する働きがあるため、地球の気温がどんどん上がっていくだろうと予測されている。



《新しい漢字 読みかえの漢字》

水辺

石炭

二酸化炭素

このままの活動を人類が続けていけば、地球の環境は悪くなるばかりで、その結果、人類が永遠に生きていけるかどうかさえあやぶまれているのである。言いかえれば、わたしたちの生活を支えている便利さと**引きかえに**、地球が重い病気にかかり、最終的には人類自身に、大きな**わざわい**がおよぼうとしているということができる。

地球が太陽系のわく星の一つとして誕生したのは、今から四十六億年ぐらい前だといわれている。地球は太陽からほどよいきよりに生まれ、また、ほどよい大きさをもっていたために、そこには水が生まれ、大気が生まれた。

やがて、その水の中に、さまざまな生命が誕生し、次々と進化をしてきた。初め海で栄えた生命は、四億年ぐらい前からは、陸上にも広がるようになった。いろいろな種類のキョウリュウが、わがもの顔にのし歩いていた時代もあった。そのキョウリュウがほろびると、次にはほにゆう類の時代が来た。そして、最後に人類が誕生したのである。

人類は、誕生からの長い間、生物の一員として、地球の自然とうまく付き合いなら生き続けてきた。ところが、ここ二百年ほどの間に、人類は、ちえと技術を**ふんだん**に使って便利な社会を作り上げ、その結果として、地球の環境をこわし人類自身の未来までもあやうくしているのである。

《新しい漢字 読みかえの漢字》

エイ
永遠

ささ
支える

シユウ
最終的

さか
栄える

四十六億年という地球の歴史に対して、人類の生きてきた時間は、わずか三百五十万年から四百万年ほどにすぎない。

仮に、地球の歴史である四十六億年を、一年にたとえてみよう。地球が一月一日午前0時に生まれ、今が、まるまる一年たった大みそかの夜中の十二時だとしたら、人類の誕生したのはいつごろになるだろうか。答えはなんと、十二月三十一日の午後五時ごろなのである。つまり、地球の歴史を一年にたとえるなら、人類は、生まれてからわずか七時間ほどしかたっていないことになる。

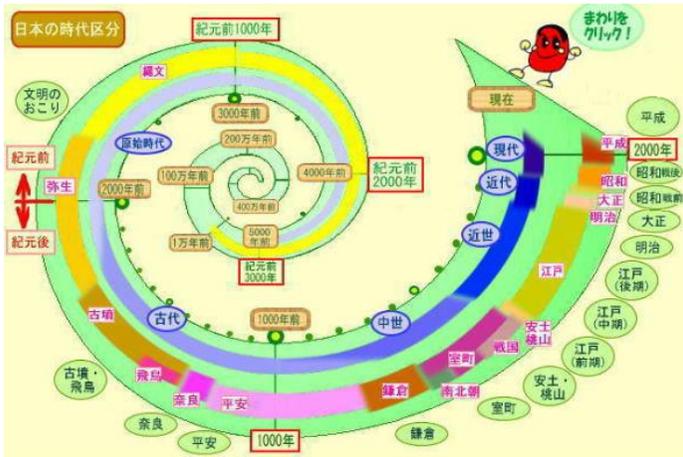
しかも、その七時間の大部分を、人類は、地球の自然と仲良くしながら生きてきた。人類が、さかんな活動の結果として、さまざまな環境の問題を引き起こすようになったのは、わずか二百年ぐらいのことだから、地球の一年に対して、一秒ちよつとの時間にすぎない。

たった一瞬間、地球の上で活動をしたために、人類は、地球が一年かかって築きあげてきた環境をこわしてしまい、地球に対して取り返しのつかないことをしようとしている。人類が地球の上でもしこれ以上**おごりたかぶる**なら、地球からは、大きな**しっぺ返し**を食うにちがいない。

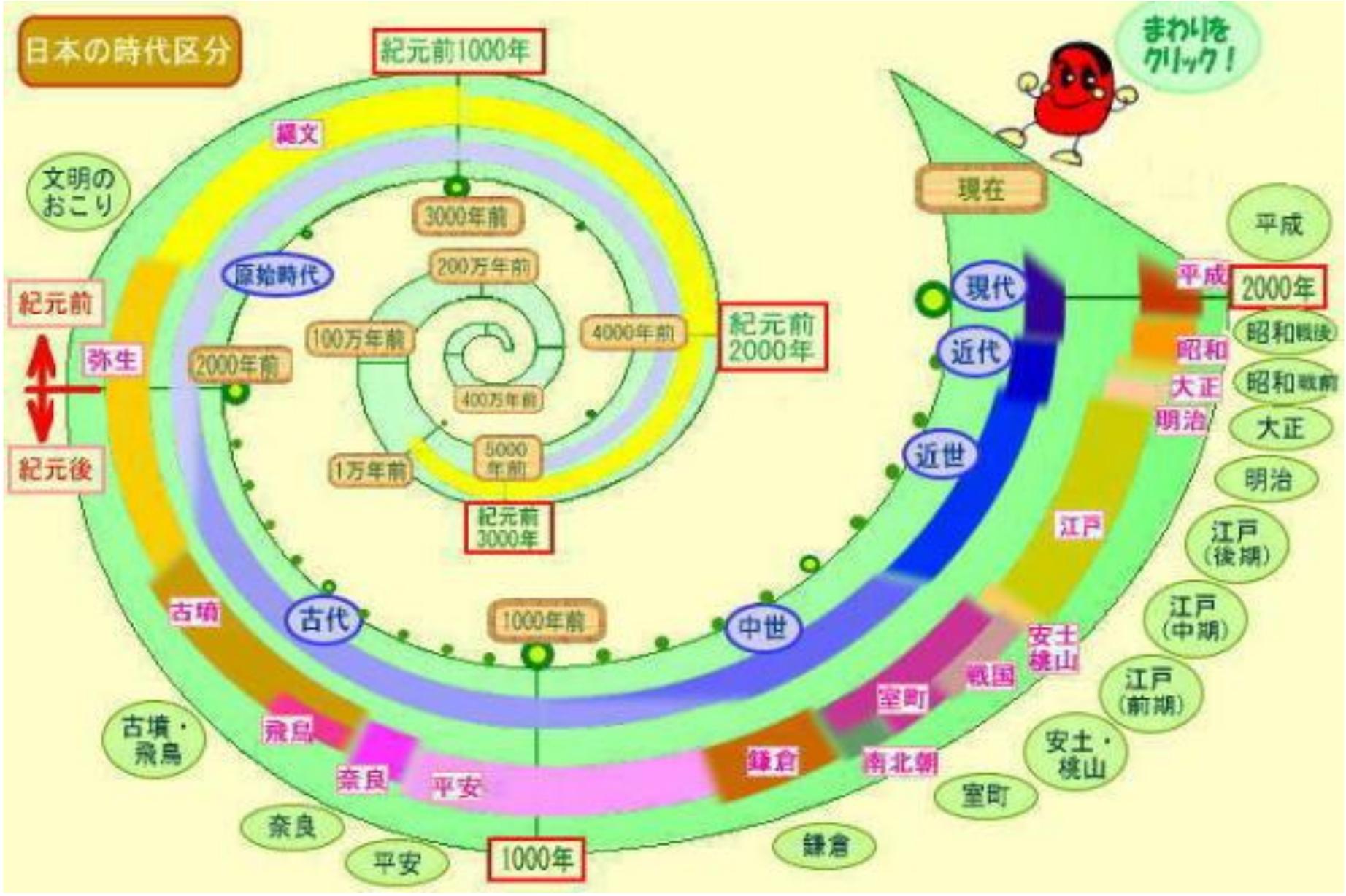
《新しい漢字 読みかえの漢字》

エイ 永遠
さか 支える
かり 仮

ついたら 一日
きず 築き上げる



日本の時代区分



次の言葉の意味をたしかめましょう

- ① 祖先
く族のもと。その家の血すじのはじめの人。
- ② いちじるしい
はつきりしている。
- ③ 居ながら
家に居たまま。
- ④ 不毛
土地がやせていて作物ができないこと。
- ⑤ ひがた
潮しほの引いた海岸。
- ⑥ そこなう
体や気持ちを悪くする。
- ⑦ 引きかえる
取りかえる。こうかんする。
- ⑧ わざわい
悪いできごと。
- ⑨ ふんだんに
たくさん。じゅうぶんに。
- ⑩ おごりたかぶる
いばり、えらそうにする。
- ⑪ しっぺ返し
すぐに仕返しをすること。

際サイ

際際際際際際
際際際際際際

災サイ害

災災災災災災

減ヘる

減減減減減減
減減減減減減

貧マブしい

貧貧貧貧貧貧
貧貧貧貧貧貧

二サン酸化炭素ソ

酸酸酸酸酸酸
酸酸酸酸酸酸

素素素素素素素素素素

新しい読み方の漢字

森林

しんりん

燃料

ねんりょう

住居

じゅうきよ

好ましい

このましい

水辺

みずべ

石炭

せきたん

漢字の学習

読んでみましょう

環境	かんきょう
祖先	そせん
技術	ぎじゆつ
居る	いる
森林	しんりん
燃料	ねんりよう
耕地	こうち
住居	じゆうきよ
際	さい
災害	さいがい
減る	へる
貧しい	まずしい
好ましい	このましい
水辺	みずべ
石炭	せきたん
二酸化炭素	にさんかたんそ

宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

今日の授業で書いた漢字の練習をしましょう。

2. 音読 「一秒が一年をこわす」を読みましょう。

3. 言葉の勉強

次の問題を国語のノートにやりましょう。

① 「いちじるしい」を使って、文を作りましょう。

例…技術はいちじるしい進歩をとげた。

② ①と②、どちらの使い方が正しいですか。

《そこなう》

① ①はい気ガスは健康をそこなう。

② ②宿題は時間をそこなう。

《ふんだんに》

① ①紙をふんだんに使って工作をする。

② ②服のよこれをふんだんに取る。



お知らせ

1. 質問があつたら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、Webページ <http://JPNCClass.com> を
見てください。
 - ❖ このビデオのスライドもWebページからダウンロードや印刷が
できます。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

五年生

年間学習表



身につけたい力

7月	6月	5月	4月		
		<p>新聞記事から 新聞記事の見出しの 違いについて考えた ことを発表しよう。</p>	<p>自分の意見を持つとう 自分の意見を発表し よう。話し手の意図 を聞き取ろう。</p>	<p>1年間の学習を通し て 先生の話を聞き、学 習を進めよう。</p>	<p>話す／聞く</p>
<p>こんな道があつたら 町の様子を観察し、 気が付いたことや 思ったことを書こう。</p>	<p>大陸は動く 前半と後半に分けて、 書いてあることを短 くまとめよう。</p>	<p>新聞記事から 新聞記事を短くまと めよう。(要約しよ う。)</p> <p>詩を楽しもう 見たり感じたりした ことをもとに、心の つぶやきを言葉にし よう。</p>	<p>やどかり探検隊 物語を読んで、感じ たことや考えたこと を書こう。</p> <p>記録しよう 心に残ったことを、 書留めよう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、記 事に対する自分の意 見を書こう。</p>	<p>書く</p>
<p>麦畑 情景を思いうかべな がら読もう。登場人 物の心情と情景が一 体のものでえがかれ ていることを読み取 ろう。</p>	<p>地図が見せる世界 筆者が最も言いたい ことは、どういうこ とだろう。</p> <p>大陸は動く 筆者はどんな考えで、 「大陸は動く」とい う題名をつけたのだ ろう。</p>	<p>詩を楽しもう 文語の詩を読もう。 「自分」の伝え方に ついて考えよう。</p>	<p>やどかり探検隊 主人公の気持ち进行考 え、自分と重ね合わ せて読もう。</p>	<p>新聞記事 記事の内容を読み取 ろう。</p>	<p>読む</p>
<p>仮名づかいの決まり 発音と違う書き方を する、言葉について 知ろう。</p>	<p>つなぎ言葉 つなぎ言葉の働きを 知り、つなぎ言葉を 使えるようになるう。</p>	<p>同じ音の漢字 同じ音を持つ漢字そ れぞれの意味と使い 方を知ろう。</p>			<p>言葉</p>

12月	11月	10月	9月	8月	
目的を考えて話し合おう 目的にそった、有意義な話し合いにするための方法を知ろう。					話す／聞く
わらぐつの中の神 自分の身近な物について、それがどういうものかが読む人にわかるように書こう。	調査したことをまとめよう 調査したいことを決めて、調べたことを作文に書こう。	大造じいさんとガン 大造じいさんの気持ちの移り変わりをまとめよう。	身近な環境 身近な環境について調べ、わたしたちができることは何か書こう。	読書記録 読書記録の書き方を知り、自分の同署記録を書こう。 おみやげ 宇宙人の宿題 「宇宙人」「戦争」「現代文明」について思ったこと、考えたことを書こう。	書く
わらぐつの中の神様 おばあちゃんの思い出話と、その前後の現在の話を配した構成を理解しよう。	「その人」と出会って 筆者が手話を通して心を通わせた経験と、それにもとづいた感動を読み取ろう。	大造じいさんとガン 情景を思いうかべながら読もう。	一秒が一年をこわす わたしたちの周りで実際に起きている問題を考えよう。	おみやげ 宇宙人の宿題 宇宙人に目を向けた二つの作品を読み比べよう。	読む
	熟語を使って 熟語の読み方と意味を知ろう。	敬語 正しい敬語の使い方を知らう。日常生活で使っている敬語をまとめよう。	漢語と和語 漢語と和語について知り、意味の違いを調べよう。	漢字のなりたち 今わたしたち使っている漢字が、どのように作られたのか知ろう。	言葉

	3月	2月	1月	
	朗読をしよう 一年間 学習 した物語の中で、 一番好きな作品の 朗読をしよう。			話す／聞く
	月夜のみみずく 作品全体から感じ たこと、場面ごと の印象を書こう。	リレー物語を作ろう もらった物語の続 きを書こう。 推敲をしよう 書いた作文を、よ り良い文章になる ように推敲しよう。	言葉と気持ち 自分の気持ちや意 図を相手に伝える 短い文を書こう。	書く
	月夜のみみずく 「わたし」が「と うさん」と森に 入った初めての経 験、雪の森の中で 見た世界を想像し よう。	詩の広場 うれしいときや悲 しいとき、わたし たちの心は何を感 じ、目にはどんな 風景がうつってい るのか、考えよう。	言葉と気持ち 三つの事例を通し て、筆者は何を うったえようとし たのか考えよう。	読む
五年生の漢字 五年生で習った漢 字の復習をしよう。		言葉の組み立て 複合語の意味、ど んなふうにするの か考えよう。	漢字の読み方と使い 方 言葉によって読み 方が変わる漢字を 知り、正しく使え るようになるよう。	言葉